

令和7年度 事業報告

令和7年中の本県における治安情勢は、刑法犯認知件数が3,351件（前年比+32件）となり、前年に比べ微増ながらも令和4年からの増加傾向が継続しており、特殊詐欺や粗暴犯などの犯罪が増加しました。

特に、特殊詐欺にあつては被害認知件数が大幅に増加し、警察官になりすますニセ警察詐欺やSNSを使用した架空料金請求詐欺などが増え、全体の被害金額は8億円以上となっており、予断を許さない現状にあります。

このような厳しい現状の中、岩手県防犯協会連合会（以下「県防連」という。）は、公益社団法人として、犯罪のない「安全で安心な岩手の実現」を目指し、地区防犯協会連合会（以下「地区防」という。）、職域防犯団体、警察等関係機関と連携し、今後も犯罪抑止に向けた地域安全活動を強力に推進します。

令和7年度中における各事業の推進結果は、下記のとおりです。

第1 犯罪のない安全で安心なまちづくり事業（公益目的事業）

1 地域安全活動事業

(1) 防犯意識及び防犯活動の普及・啓発・広報

ア 季節地域安全運動の推進

警察、自治体等関係機関・団体と緊密な連携の下、犯罪情勢に応じた重点を定めてのキャンペーンのほか、防犯パトロール、防犯座談会等の活動を広範に行うなど、住民参加による地域の実態に即した地域安全運動を推進し、犯罪の予防、防犯意識の普及・啓発に努めました。

- ・ 春の地域安全運動（4月6日（日）～4月15日（火））
- ・ 全国地域安全運動（10月11日（土）～10月20日（月））
- ・ 年末年始地域安全運動（12月15日（月）～1月3日（土））

イ 全国地域安全運動岩手県大会の開催（9月18日（木）盛岡市・盛岡劇場）

岩手県、岩手県警察本部との共催により、全国地域安全運動の一環として「安全安心まちづくり県民大会」を開催しました。

地域安全運動に関わる関係機関・団体の代表者が一堂に会し、地域安全運動の重要性を広く県民に呼びかけました。

ウ 地域安全運動ポスター・標語の公募

地域安全運動への理解と参加意識を高めるため、広く県民からポスター・標語を募集し、優秀作品を表彰しました。

また、入賞作品を全国コンクールに応募したほか、最優秀作品を広報紙「防犯いわて」に掲載するとともに、全国地域安全運動ポスター、防犯カレンダーを作成し、市町村や地区防を通じて周知を図りました。

	応募数	最優秀	優秀	佳作	入賞数
ポスター	27	2	2	1	5
標語	395	2	2	2	6
合計	422	4	4	3	11

エ 防犯パトロール活動等の支援、子どもの安全対策等の強化

- 日本宝くじ協会の助成を受け、県内に青色回転灯装備車両を配備するなど、子どもの見守り活動等の防犯パトロール活動を支援しました。
- 子どもの安全対策に関し、各地区防犯協会等に「ながら見守りマニュアル」を配布し「ながら見守り」等の推進を図るとともに、報道取材を通じテレビ、ラジオ放送を活用して「子どもの見守り活動」を県民に呼びかけました。
- 高齢者宅等を訪問しての防犯や防災等の指導のほか、安否確認など、地域づくりにも配慮した幅広い防犯活動を推進しました。

オ 広報紙「防犯いわて」等による広報啓発活動

- 広報紙「防犯いわて」を年間2回（合計9万部）発行し、各戸回覧や地区防を通じての無償配布などにより、県民への防犯広報や県防連及び地区防の活動について情報発信し周知に努めました。
- ホームページに「防犯いわて」を掲載したほか、各地区の防犯活動事例を紹介するなど、積極的な広報・啓発活動の推進に努めました。
- 特殊詐欺被害防止用DVD等の視聴覚広報資料の整備・充実に努め、随時貸出に応じて、県民の防犯意識の高揚を図りました。
- ポスターやリーフレット、携帯用列車時刻表の作成配布など、広報媒体を活用して身近な犯罪の発生実態や被害防止対策について、タイムリーな広報・啓発活動を推進しました。
 - ・ 振り込め詐欺等特殊詐欺の発生状況に応じ、被害者になりやすい高齢者を中心とした被害防止対策を推進しました。
(県内路線バス車内へのポスター掲示等)
 - ・ 凶悪事件に発展する危険性の高い住宅対象侵入窃盗被害を防止するため、無施錠被害状況やその危険性、キャッチフレーズ「おにっこ」による鍵かけの徹底を呼びかけ、県民の意識改革、侵入窃盗等の発生抑止に努めました。
 - ・ 新入学児童への「イカのおすし」のチラシ配布による子どもの安全対策や女性の性犯罪被害対策を推進しました。

※ 主な県防連作成（購入）広報資料

広報啓発用ポケットティッシュ（わが家わが街防犯宣言）	22,000個
広報啓発用除菌ウェットティッシュ	4,500個
広報啓発用携帯カイロ	5,600個
路線バス車内広報啓発ポスター（安全・安心なまち）	1,800枚
JR・IGR用携帯列車時刻表（詐欺被害防止広報）	年2回掲載
全国地域安全運動啓発ポスター	760枚
全国地域安全運動啓発チラシ（A4版）	6,000枚
令和8年カレンダー（ポスター・標語優秀作品採用、B3版）	1,000枚
春の地域安全運動啓発チラシ（A4版）	20,000枚
イカのおすしチラシ(令和8年度県内新入学児童用)	10,000枚

(2) 自転車盗難防止活動の推進

自転車の防犯登録は、自転車所有者の早期判明や盗難防止に効果があるほか、盗難被害時には早期回復が図られるなど、非常に効果的な防犯対策です。

自転車の盗難防止を図るため、岩手県自転車二輪車商業協同組合等と連携し、防犯登録制度の広報や、街頭での鍵かけ広報、自転車安全点検等（各地区防）の活動

を展開し、自転車防犯登録の推奨と自転車盗難防止に努めました。

- ・ 自転車防犯登録件数 23,168件

(3) 防犯功労者及び優良団体の表彰推進

多年にわたり地域の防犯活動を積極的に推進した功績と貢献が認められた個人・団体を賞揚し、防犯意識の高揚と防犯活動の活発化を図りました。

ア 警察庁長官、全国防犯協会連合会長表彰受賞者（敬称省略）

令和7年9月25日、全国地域安全運動中央大会が開催され、次の個人・団体が受賞しました。

- 防犯栄誉金章(警察庁長官・全防連会長連名) 1名
大坊 忠（コンビニ）
- 防犯栄誉銀章(警察庁長官・全防連会長連名) 2名
白岩 俊貞（遠野） 泉山 優（軽米）
- 防犯栄誉銅章(全防連会長名) 6名
金野 宏（大船渡） 高橋 四五六（一関） 菅野 孝（一関）
岩渕 善吉（釜石） 長崎 俊文（宮古） 泡淵 正（田野畑）
- 防犯功労団体表彰(警察庁長官・全防連会長連名) 1団体
南都田地区防犯協会（奥州）

イ 東北管区警察局長・東北防犯協会連絡協議会長連名表彰受賞者（敬称省略）

令和7年6月27日、次の個人、団体が受賞しました。

- 防犯功労者 8名
三浦 修悦（久慈） 千葉 正憲（一関） 菅原 武（釜石）
大畑 正二（盛岡） 鈴木 勝三（一関） 梅木 義広（北上）
田中 幸郎（コンビニ） 岩館 佐吉（紫波）
- 優良防犯団体 2団体
平泉町防犯隊（平泉） 駒形通り防犯協会（宮古）

ウ 岩手県警察本部長、岩手県防犯協会連合会長表彰

令和7年6月17日、定時総会等において、45名、30団体が受賞しました。
（受賞者名は、令和7年度定時総会資料に掲載）

- 全防連会長表彰
・ 感謝状 1名
- 県警察本部長・県防連会長連名表彰
・ 優良防犯団体 4団体 ・ 功労者 39名
・ 防犯連絡所防犯連絡委員 4名
- 県防連会長表彰
・ 賛助会員感謝状 1名、26団体

2 少年の非行防止及び健全育成活動事業

少年の非行防止及び健全育成を図るため、関係機関・団体との連携を密にして諸対策を推進しました。

(1) 「わたしの主張」岩手県大会の開催（9月17日（水）、盛岡市・キャラホール）

岩手県等関係機関と共に、県内各地区を代表する中学生17名による「わたしの主

張岩手県大会」を開催し、青少年の非行防止や健全育成に努めました。

(2) 少年剣道大会

岩手県剣道連盟との共催により、少年剣道大会を開催し、日本の伝統スポーツを通じて青少年の健全育成に努めました。

- 岩手県下少年剣道大会（6月29日（日）、県営武道館）
 - ・ 143チーム、720名の小中学生選手が参加

3 風俗環境浄化活動事業

- (1) 県防連は、岩手県公安委員会から、「岩手県風俗環境浄化協会」の指定を受けており、風俗営業管理者講習、風俗営業許可申請調査等を通じて、風俗環境の浄化及び善良な風俗環境の保持並びに少年の健全育成に努めました。

ア 風俗営業管理者講習

岩手県公安委員会の委託を受け、風俗営業所の管理者を対象に、管理者としての業務を適正に行うために必要な法令、知識、技能等に関する講習を実施しました。

- ・ 7回実施 191名受講

イ 風俗営業許可申請等の調査

岩手県公安委員会の委託を受け、風俗営業許可申請・構造設備変更申請等の営業所について、構造設備や営業場所等が法の基準に適合しているか調査し、その結果を営業所を管轄する警察署を通じて公安委員会に報告しました。

- ・ 調査件数 64件

- (2) 岩手県遊技業協同組合から委託を受け、県内のパチンコ店の立入検査を実施し、遊技機の検査及び年少者の立入防止など、健全営業の指導に努めました。

- ・ 立入指導件数 130件

第2 古物営業標識等の発行事業（その他の事業）

古物営業法は、窃盗その他の犯罪の防止及びその被害の迅速な回復に資することを目的として、古物営業許可業者に適正な営業を営ませるため、営業所には国家公安委員会規則で定める標識の掲示及び従業者等に行商を行わせるときは同規則で定める行商従業者証を携帯させることを義務付けています。

県防連は、古物営業許可業者からの依頼を受け、掲示・携帯が義務付けられている「古物営業標識」及び「行商従業者証」を発行しました。

- ・ 古物営業標識の発行枚数 53枚
- ・ 古物行商従業者証の発行枚数 6枚

第3 その他の業務

防犯協会員団体総合補償保険の加入奨励

防犯ボランティアの災害補償を担保するため、防犯協会員団体総合補償保険の加入奨励に努めました。

補償保険の概要は次のとおりで、県下で合計2,526名が加入しました。

区分			型	A 型	B 型	C 型	
保 険 金	傷	死亡・後遺障害		3, 000, 000円	6, 000, 000円	15, 000, 000円	
		入院保険金日額		3, 000円	6, 000円	7, 500円	
	害	手 術	入院中の手術：入院保険金日額の10倍/外来の手術：入院保険金日額の 5 倍				
		通院保険金日額		1, 000円	2, 000円	5, 000円	
	賠 償	対 人 賠 償	1 名 2, 000万円 1 事故 1 億円				
		対 物 賠 償	1 事故 200万円				
令和 7 年度の加入状況				1, 129名	633名	764名	

第4 協会運営

会議・研修などの開催及び参加

(1) 協会運営関連の会議

種	別	開 催 日	開 催 場 所
第1回理事会		令和7年5月19日	岩手県自治会館
定時総会		令和7年6月17日	アートホテル盛岡
第2回理事会		令和7年6月17日	アートホテル盛岡
第3回理事会		令和8年3月16日	岩手県自治会館

(2) 関連団体等の会議・研修

種	別	開 催 日	開 催 場 所
岩手県防犯連絡所協議会連合会理事会		令和7年10月16日	岩手県民会館
地区防等事務担当者研修会		令和7年7月10日	岩手県民会館

(3) 関係機関等の会議・研修

種	別	開 催 日	開 催 場 所
東北防犯協会連絡協議会総会		令和7年6月27日	東北管区警察局
都道府県防犯協会専務理事等会議		令和7年7月18日	東京ガーデンパレス

上記の他、地区防総会、各種協議会、委員会等の関係機関・団体が行う各種会議等に積極的に出席して情報交換を行うなど、総合的な防犯対策の推進に努めました。

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項及び定款第35条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和8年4月

公益社団法人 岩手県防犯協会連合会